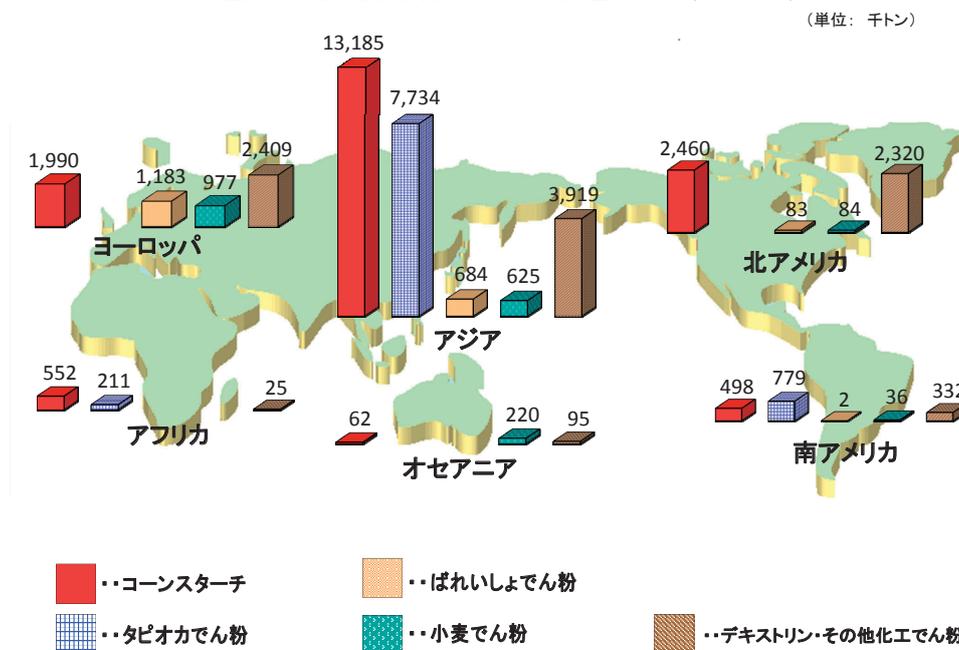


でん粉の国際需給

調査情報部 水野 崇、荒川 侑子

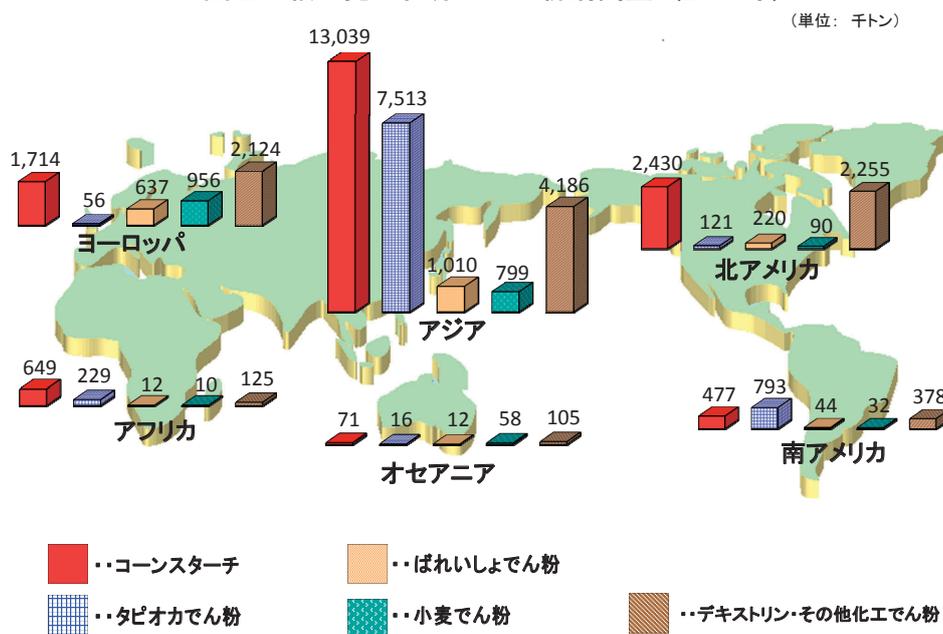
1. 世界のでん粉需給

図1 絵で見る世界のでん粉生産量（2018年）



資料：LMC International *「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成
 (※農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社)
 注：ヨーロッパには、ロシアを含む。

図2 絵で見る世界のでん粉消費量（2018年）



資料：LMC International 「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成
 注：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 トウモロコシ相場およびキャッサバ市価の推移

年・月	シカゴトウモロコシ・期近 (セント/BU)			タイキャッサバ (パーツ/kg)	
	高 値	安 値	平均値	キャッサバ 農家価格	チップ 卸売価格
2014年	515.75	320.75	415.91	2.10	6.76
2015年	433.50	347.75	376.57	2.16	6.78
2016年	437.75	301.50	358.36	1.52	5.66
2017年	392.25	329.50	359.29	1.40	5.14
2018年	408.50	330.25	368.07	2.38	6.85
2019年	454.75	340.75	383.21	1.89	6.30
2019年10月	397.75	380.25	389.77	1.70	6.37
11	389.25	362.75	373.63	1.87	6.08
12	390.00	357.75	377.92	1.99	6.07
2020年1月	393.75	375.50	385.74	1.94	5.98
2	383.50	364.50	377.45	1.92	5.96
3	387.00	335.25	359.93	1.89	5.96
4	334.75	302.75	320.90	1.73	5.98
5	331.50	310.75	319.70	1.67	6.09
6	338.50	317.00	327.61	1.62	6.13
7	351.25	315.50	331.93	1.64	6.39
8	348.50	307.75	325.15	1.73	7.00
9	379.00	344.50	362.38	1.76	7.09
10	419.25	379.50	398.90		7.13

資料：CME Group、タイ農業協同組合省、タイ商務省

注1：1 ブッシェル (BU) は25.401キログラム、セントは1米ドルの100分の1。

(シカゴトウモロコシ相場の直近のデータは、当機構ホームページの「海外情報」に掲載しています。)

(<https://www.alic.go.jp/international/index.html>)

注2：チップ卸売価格は、アユタヤ県とチョンブリー県の価格を単純平均したものの。

2. 日本の品目別主要輸入先国の動向

本稿中の為替レートは2020年10月末日TTS相場の値であり、1米ドル=106円(105.60円)、1タイバーツ=3.44円、1ユーロ=124円(123.64円)である。

トウモロコシ・コーンスターチ

世界

【需給動向：トウモロコシ】

2020/21年度の世界のトウモロコシ期末在庫量、前月予測からやや下方修正し、前年度比3.9%減

2020年11月10日、米国農務省世界農業観測ボード（USDA/WAOB）および米国農務省海外農業局（USDA/FAS）は、2020/21年度の世界のトウモロコシ需給予測値を更新した（表2）。

これによると、2020/21年度の世界のトウモロコシ生産量は11億4463万トン（前年度比2.5%増、前月比1.2%減）へわずかに下方修正された。国別に見ると、長引く乾燥・高温気候により、2012/13年度以来の不作が見込まれるウクライナで800万トン、単収の下方修正により米国で546万トン、それぞれ前月から下方修正された。しかし、作付けが開始された南アフリカでかなり大きく上方修正されたことや、米国（3億6849万トン、前年度比6.5%増）およびブラジル（1億1000万トン、同7.8%増）で前年度の生産量を上回ることから、依然として記録的に大きな生産量となる見通しである。

輸出量は、世界全体で1億8477万トン（前年度比8.0%増、前月比0.2%増）へわずかに上方修正された。国別に見ると、大幅な減産が予測されたウクライナで800万トン下方修正されたが、米国でそれを上回る825万トン上方修正された。輸入量は、世界全体で1億7823万トン（同7.5%増、同0.2%増）へわずかに上方修正された。国・地域別に見ると、EUで400万トン下方修正されたが、アフリカ豚熱からの回復が進み、飼料向け需要が増加し、トウモロコシの国内価格が上昇している中国で600万トン上方修正された。

消費量は、世界全体で11億5654万トン（同2.1%増、同0.5%減）へわずかに下方修正されたものの、生産量を1191万トン上回ることとなった。国別に見ると、生産量が引き下げられる米国で190万トン下方修正されたものの、中国で300万トン上方修正された。

期末在庫は、世界全体で902万トン下方修正された結果、2億9143万トン（同3.9%減、同3.0%減）と見込まれている。国別に見ると、輸入量の増加が見込まれる中国で261万トン上方修正されたが、減産と輸出量の増加が見込まれる米国で1181万トン下方修正された。

表2 主要国のトウモロコシの需給見通し（2020年11月10日米国農務省公表）

（単位：百万トン）

国名	2018/19年度	2019/20年度 (推計値)	2020/21年度		
			(10月予測)	(11月予測)	前年度比 (増減率)
米国					
期首在庫	54.37	56.41	50.68	50.68	▲ 10.2%
生産量	364.26	345.96	373.95	368.49	6.5%
輸入量	0.71	1.06	0.64	0.64	▲ 39.6%
消費量	310.45	307.58	311.16	309.26	0.5%
輸出量	52.48	45.17	59.06	67.31	49.0%
期末在庫	56.41	50.68	55.04	43.23	▲ 14.7%
アルゼンチン					
期首在庫	2.41	2.37	1.87	1.87	▲ 21.1%
生産量	51.00	51.00	50.00	50.00	▲ 2.0%
輸入量	0.00	0.01	0.01	0.01	0.0%
消費量	13.80	13.50	15.00	15.00	11.1%
輸出量	37.24	38.00	34.00	34.00	▲ 10.5%
期末在庫	2.37	1.87	2.88	2.88	53.7%
ブラジル					
期首在庫	9.32	5.29	5.49	5.49	3.8%
生産量	101.00	102.00	110.00	110.00	7.8%
輸入量	1.66	1.20	1.50	1.50	25.0%
消費量	67.00	69.00	70.00	70.00	1.4%
輸出量	39.68	34.00	39.00	39.00	14.7%
期末在庫	5.29	5.49	7.99	7.99	45.5%
ウクライナ					
期首在庫	1.57	0.89	1.25	1.25	40.4%
生産量	35.81	35.89	36.50	28.50	▲ 20.6%
輸入量	0.04	0.02	0.02	0.02	0.0%
消費量	6.20	6.35	6.10	6.10	▲ 3.9%
輸出量	30.32	29.20	30.50	22.50	▲ 22.9%
期末在庫	0.89	1.25	1.16	1.16	▲ 7.2%
中国					
期首在庫	222.53	210.16	200.92	200.53	▲ 4.6%
生産量	257.17	260.78	260.00	260.00	▲ 0.3%
輸入量	4.48	7.60	7.00	13.00	71.1%
消費量	274.00	278.00	279.00	282.00	1.4%
輸出量	0.02	0.01	0.02	0.02	100.0%
期末在庫	210.16	200.53	188.90	191.51	▲ 4.5%
世界計					
期首在庫	340.76	319.83	304.24	303.33	▲ 5.2%
生産量	1,123.35	1,116.19	1,158.82	1,144.63	2.5%
輸入量	164.42	165.79	177.81	178.23	7.5%
消費量	1,144.29	1,132.68	1,162.60	1,156.54	2.1%
輸出量	181.73	171.01	184.47	184.77	8.0%
期末在庫	319.83	303.33	300.45	291.43	▲ 3.9%

資料：USDA/WAOB [World Agricultural Supply and Demand Estimates]

注：各国の穀物年度は世界、米国：9月～翌8月/ウクライナ、中国：10月～翌9月/アルゼンチン、ブラジル：3月～翌2月。

米 国

【需給、価格動向：トウモロコシ】

2020/21年度の米国トウモロコシ期末在庫量、減産や輸出量の上方修正を受けて、前年度比14.7%減

2020年11月10日、USDA/WAOBは、2020/21年度（9月～翌8月）の米国の主要農作物需給予測値を更新した。このうち、米国のトウモロコシ需給見通しは、次の通りである（表3）。

生産量は、単収がわずかに下方修正されたことから、145億700万ブッシェル（3億6849万トン^{（注）}、前年度比6.5%増、前月比1.5%減）へわずかに下方修正された。しかし、前年度からはかなりの程度増加する見込みであり、これまでの統計で最も生産量の多かった2016/17年度の151億4800万ブッシェル（3億8477万トン）をやや下回る過去2番目の水準となっている。

国内消費量は、生産量の下方修正や生産者平均販売価格の上昇により、飼料など向けが7500万ブッシェル下方修正されたため、121億7500万ブ

ッシェル（3億926万トン、同0.5%増、同0.6%減）へわずかに下方修正された。

輸出量は、ウクライナなどの競合国で生産量が下方修正されたことや中国向けの輸出量が増える見込みであることを受けて、26億5000万ブッシェル（6731万トン、同49.0%増、同14.0%増）へかなり大きく上方修正され、記録的に大きな輸出量となる見通しである。

期末在庫は、生産量の下方修正や輸出量の上方修正により、17億200万ブッシェル（4323万トン、同14.7%減、同21.5%減）へ大幅に下方修正され、2013/14年度以来の低水準となる見通しである。その結果、期末在庫率（総消費量に対する期末在庫量）は11.5%（同2.9ポイント減、同3.4ポイント減）へ下方修正された。

また、生産者平均販売価格は、期末在庫のさらなる下方修正が主な要因となって、前月より0.4米ドル高い1ブッシェル当たり4.00米ドル（424円。1キログラム当たり16.7円）と予測された。

（注）1ブッシェルを約25.401キログラムとして農畜産業振興機構が換算。

表3 米国のトウモロコシの需給見通し（2020年11月10日米国農務省公表）

区 分	一単位	2018/19 年度	2019/20 年度 (推計値)	2020/21年度		
				(10月予測)	(11月予測)	前年度比 (増減率)
作付面積	(百万エーカー)	88.9	89.7	91.0	91.0	1.4%
収穫面積	(百万エーカー)	81.3	81.3	82.5	82.5	1.5%
単収	(ブッシェル/エーカー)	176.4	167.5	178.4	175.8	5.0%
国内生産量	(百万ブッシェル)	14,340	13,620	14,722	14,507	6.5%
輸入量	(百万ブッシェル)	28	42	25	25	▲40.5%
期首在庫	(百万ブッシェル)	2,140	2,221	1,995	1,995	▲10.2%
総供給量	(百万ブッシェル)	16,509	15,883	16,742	16,527	4.1%
国内消費量	(百万ブッシェル)	12,222	12,109	12,250	12,175	0.5%
飼料など向け	(百万ブッシェル)	5,429	5,827	5,775	5,700	▲2.2%
食品・種子・その他工業向け	(百万ブッシェル)	6,793	6,282	6,475	6,475	3.1%
エタノール向け	(百万ブッシェル)	5,378	4,852	5,050	5,050	4.1%
輸出量	(百万ブッシェル)	2,066	1,778	2,325	2,650	49.0%
総消費量	(百万ブッシェル)	14,288	13,887	14,575	14,825	6.8%
期末在庫	(百万ブッシェル)	2,221	1,995	2,167	1,702	▲14.7%
期末在庫率	(%)	15.5	14.4	14.9	11.5	2.9ポイント減
生産者平均販売価格	(米ドル/ブッシェル)	3.61	3.56	3.60	4.00	12.4%

資料：USDA/WAOB「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

注1：年度は、9月～翌8月。

注2：1エーカーは0.4047ヘクタール。

【貿易動向：トウモロコシ】

8月の輸出量、前年同月から大幅に、前月からはやや増加

2020年8月のトウモロコシ輸出量は、455万319トン（前年同月比62.1%増、前月比4.5%増）と前年同月からは大幅に、前月からはやや増加した。同月の主要国別輸出量は、表4の通りである。

また、同月の輸出価格（FAS^(注)）は、1トン当たり167.0米ドル（1万7702円、同13.3%安、同0.2%高）と前年同月からかなり大きく下落したものの、前月よりわずかに上昇した。

(注) Free Alongside Shipの略。貨物を船側に付けた段階で支払われる価格。FOB価格と異なり、横持ち料（倉庫間の移動費）、積み込み料などは含まれない。

表4 米国のトウモロコシ輸出量（8月）

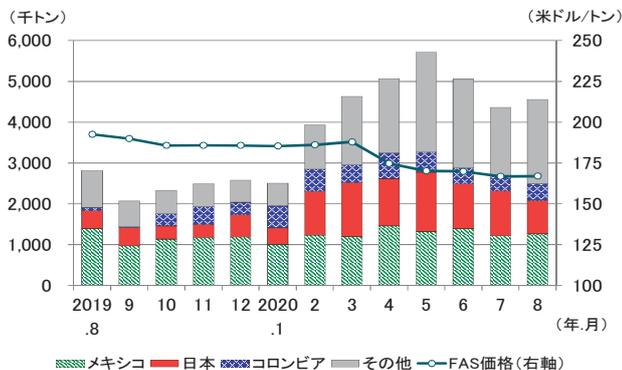
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	4,550,319	62.1%	4.5%
うち メキシコ	1,263,597	▲9.3%	3.8%
中国	1,177,486	20.3倍	2.6倍
日本	812,907	88.3%	▲25.6%
コロンビア	418,893	5.4倍	9.4%
カナダ	186,804	4.7%	14.6%
韓国	126,700	23.1倍	▲36.6%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) 米国のトウモロコシの国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

【貿易動向：コーンスターチ】

8月の輸出量は前年同月から大幅に、前月からはかなり大きく増加

2020年8月のコーンスターチ輸出量は、1万4448トン（前年同月比37.0%増、前月比14.1%増）と前年同月からは大幅に、前月からはかなり大きく増加した。同月の主要国別輸出量は、表5の通りである。

同月の輸出価格（FAS）は、1トン当たり539.1米ドル（5万7145円、同21.3%安、同15.2%安）と前年同月からは大幅に、前月からはかなり大きく下落した。

表5 米国のコーンスターチ輸出量（8月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	14,448	37.0%	14.1%
うち メキシコ	9,729	2.0倍	36.2%
カナダ	3,512	10.0%	2.1%
英国	218	▲1.4%	▲43.8%
エクアドル	198	—	▲2.9%
豪州	163	18.1%	▲14.7%
グアテマラ	124	29.2%	6.5倍

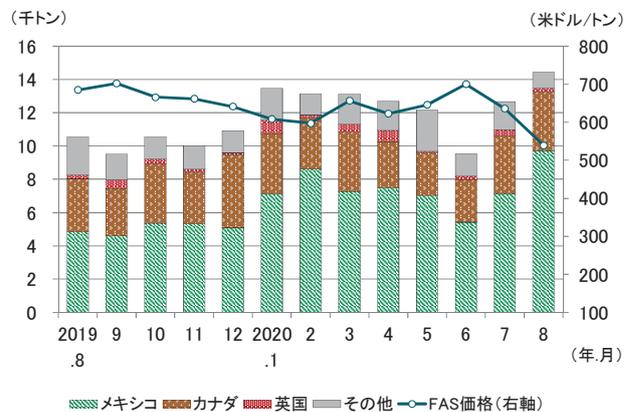
資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.12

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：「—」は、輸出実績なし。

(参考) 米国のコーンスターチの国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

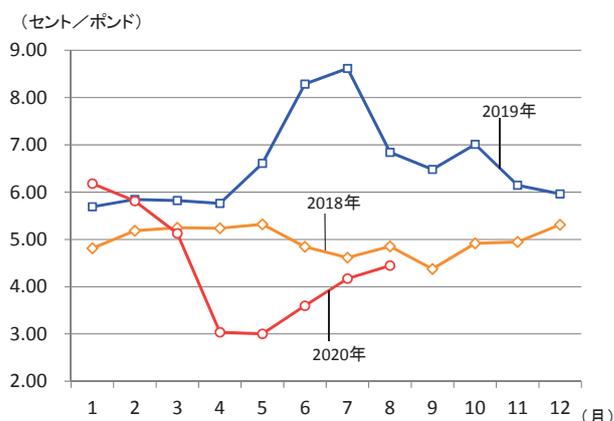
注1：HSコード1108.12

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

なお、米国農務省経済調査局（USDA/ERS）によると、同国の代表的市場の一つである中西部市場における2020年8月の製粉業者の純費用は、1ポンド^(注)当たり4.45セント（4.7円、前年同月比35.0%安、前月比6.6%高）と前年同月から大幅に下落したものの、前月よりかなりの程度上昇し、2018年の水準に近づいた。

(注) 1ポンドは約0.45キログラム。

(参考) 米国中西部市場における製粉業者の純費用の推移



資料：USDA/ERS
 注：価格は米国中西部市場における製粉業者の純費用（Net Cost）。
 なお、純費用については、トウモロコシ1ブッシェル当たり平均31.5ポンド（1キログラム当たり約0.56キログラム）のでん粉が含まれているものとして、計算されている。

タピオカでん粉

タイ

【生産動向】

2019/20年度のキャッサバ生産量は前年度からかなり大きく減少

タイ農業協同組合省農業経済局（OAE）の2020年10月現在の予測によると、2019/20年度（10月～翌9月）のキャッサバの収穫面積は870万ライ

（139万ヘクタール^(注)、前年度比0.3%増、前月同）と前年度からほぼ横ばいで推移すると見込まれる。しかし、干ばつの影響により、単収は1ライ当たり3.14トン（同12.5%減、前月同）、生産量は2735万トン（同12.0%減、前月同）と、ともに前年度からかなり大きく減少すると見込まれる（表6）。

(注) 1ライを約0.16ヘクタールとして農畜産業振興機構が換算。

表6 タイのキャッサバの生産見通し

区 分	-単位-	2017/18年度	2018/19年度	2019/20年度		
				(9月予測)	(10月予測)	前年度比(増減率)
収穫面積	(万ライ)	833	867	870	870	0.3%
生産量	(万トン)	2,937	3,108	2,735	2,735	▲12.0%
単収	(トン/ライ)	3.53	3.59	3.14	3.14	▲12.5%

資料：OAE「農業経済2020年10月」
 注：年度は、10月～翌9月。

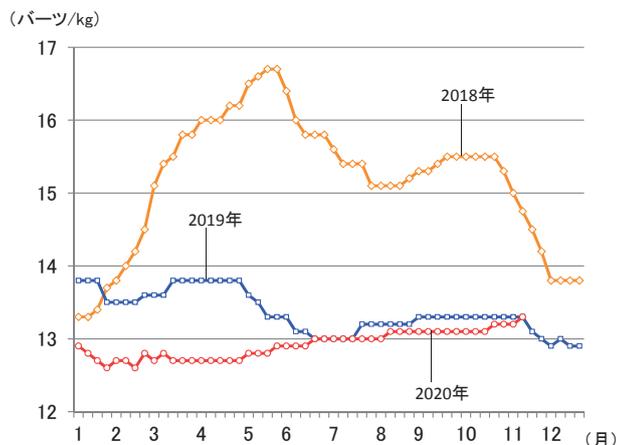
【価格動向】

国内価格、前年同期と同水準にまで上昇

タイタピオカでん粉協会（TTSA）によると、2020年11月第2週のタピオカでん粉の国内価格

は、1キログラム当たり13.3パーツ（46円、前年同期同、前週比0.8%高）と前年同期と同水準にまで上昇した（図3）。

図3 タイのタピオカでん粉国内価格の推移



資料：TTSA [Weekly Tapioca Starch Price]
注：当該週の原則火曜日の価格。

【貿易動向】

9月の輸出量、前年同月からやや増加するも、前月よりかなり大きく減少

2020年9月のタピオカでん粉輸出量は、22万690トン(前年同月比3.0%増、前月比11.0%減)と、前年同月からやや増加したものの、前月よりかなり大きく減少した。同月の主要国別輸出量は、表7の通りである。

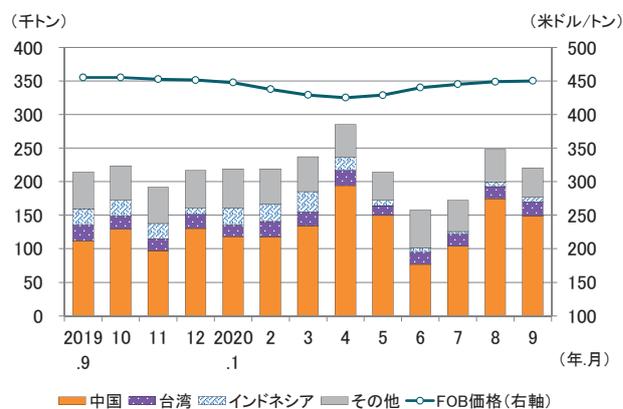
同月の輸出価格(FOB・バンコク)は、1トン当たり450.0米ドル(4万7700円、同1.1%安、同0.3%高)と、前年同月からわずかに下落したものの、前月よりわずかに上昇した。

表7 タイのタピオカでん粉輸出量(9月)

輸出先	輸出量(トン)	前年同月比(増減率)	前月比(増減率)
合計	220,690	3.0%	▲11.0%
うち 中国	149,157	33.4%	▲14.5%
台湾	20,512	▲12.1%	13.8%
フィリピン	9,620	39.7%	25.8%
日本	7,634	▲49.1%	▲24.1%
インドネシア	7,101	▲71.0%	▲3.1%
マレーシア	6,495	37.8%	▲23.4%

資料：「Global Trade Atlas」
注1：HSコード1108.14
注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) タイのタピオカでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、TTSA [Weekly Tapioca Starch Price]
注1：HSコード1108.14
注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量(累計)上位3カ国を表示。
注3：価格はバンコクのFOB価格。

ベトナム

【生産動向】

キャッサバモザイク病が拡大

ベトナムの調査会社AgroMonitorによると、9月中旬においても、中央直轄5都市および58省のうち、1市18省の合計5万5932ヘクタール(前年度比70.6%増、前月比3.5%減)でキャッサバモザイク病^(注)が確認された。これは、前年度(2019/20年度(8月~翌7月))に感染が確認された面積を大幅に上回る水準となっており、一部地域ではすでにキャッサバが枯死しているという。

また、南部地域や中央高原地域のタピオカでん粉工場は、今年度の操業を9月末に開始しているが、工場に供給されるキャッサバは成熟しきっておらず、前年度のキャッサバのでん粉含有量が干ばつ前で28~30%、干ばつ後でも25~26%程度であったものが、今期のでん粉含有量は24~25%と低い状況にあり、今後の生産動向が注目される。

(注) ウイルスの感染によって葉に黄化斑ができる病気で、光合成が十分に行われず、最終的には作物自体が枯れてしまうことから、収穫量が大幅に減少する。ベトナムのほかに、近隣国のタイ、カンボジアでも流行している。

【貿易動向】

9月の輸出量は前年同月からやや減少するも、前月より大幅に増加

AgroMonitorによると、2020年9月のタピオカでん粉輸出量は、16万7735トン（前年同月比4.9%減、前月比38.0%増）と、前年同月からやや減少したものの、前月より大幅に増加した。同国の主要国別輸出量は、表8の通りである。

表8 ベトナムのタピオカでん粉輸出量（9月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	167,735	▲4.9%	38.0%
うち 中国	157,702	0.7%	35.4%
台湾	5,258	45.3%	12.4倍
マレーシア	2,111	63.4%	15.9%
南アフリカ	742	4.4倍	75.0%
インド	399	75.0%	58.3%
UAE	304	NA	60.0%

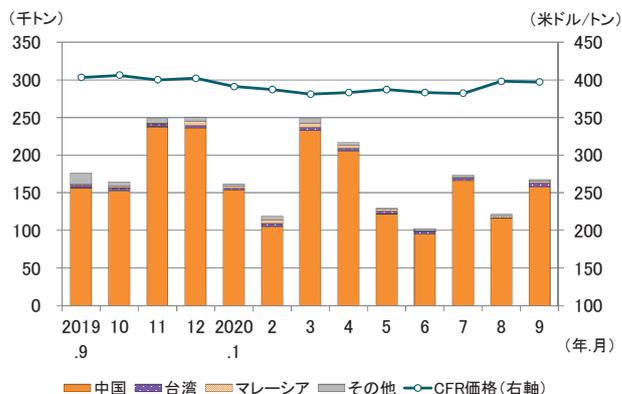
資料：ベトナム関税総局のデータを基にAgroMonitor作成

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：「NA」は、事実不明なもの。

（参考）ベトナムのタピオカでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：ベトナム関税総局のデータを基にAgroMonitor作成

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：輸出価格は、中国向けCFR※価格。（※Cost and Freightの略。輸入港までの海上運賃を売主が負担し、危険負担は物品を引き渡した際に売主から買主に移転される取引条件であり、コンテナ輸送貨物に使われることが多い）

ばれいしょでん粉

E U

【貿易動向】

8月の輸出量、前年同月からかなり大きく増加するも、前月より大幅に減少

2020年8月のばれいしょでん粉輸出量^(注)は、1万7891トン（前年同月比13.2%増、前月比33.3%減）と前年同月からかなり大きく増加した

ものの、前月より大幅に減少した。同月の主要国別輸出量は、表9の通りである。

また、同月の輸出価格（FOB）は、1トン当たり673ユーロ（8万3452円、同16.6%安、同1.5%安）と前年同月からは大幅に、前月からはわずかに下落した。

（注）EU27カ国の輸出量。輸出先の不明なものを除く。

表9 EUのばれいしょでん粉輸出量（8月）

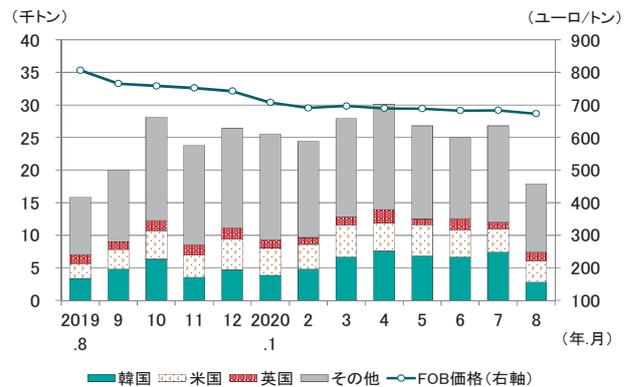
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	17,891	13.2%	▲33.3%
うち 米国	3,285	44.8%	▲9.4%
韓国	2,813	▲17.1%	▲61.9%
英国	1,277	▲2.9%	27.8%
台湾	960	23.7%	▲31.3%
マレーシア	926	3.1倍	2.1倍
ペルー	717	98.1%	▲53.0%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.13

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) EUのばれいしょでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.13

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：輸出先の不明なものを除く。

コラム デンマークにおけるばれいしょでん粉の需給動向

2012年にEU共通農業政策（CAP）が改革され、市場が自由化されて以降、デンマークのでん粉原料用ばれいしょ生産は拡大を続けている（注1）。

同国のばれいしょでん粉の生産量は公表されていないものの、大手ばれいしょでん粉製造企業のうち1社は2019年に31万トンのばれいしょでん粉を製造し、過去最高の売り上げを記録した。でん粉はアニマルウェルフェアおよび環境問題への配慮から、動物性食品に代わる植物性食品（ゼラチンの代替使用や、ばれいしょでん粉と植物性脂肪などを原料としたチーズ風味の食品製造〈写真〉などの例がある）としての需要が高まっているとみられている。

また、同社は生産したばれいしょでん粉の約9割を輸出しており、そのうち半分はEU、残りは北米およびアジアに仕向けている（注2）。現地関係者は、中間層が増加基調にあり、食生活の欧米化の定着が進むアジアにおけるばれいしょでん粉の需要の高まりに、さらなる成長を期待しているということである。



写真 EUのスーパーマーケットで販売されているヴィーガン（完全菜食）向けのチーズ風味の食品。

（注1）デンマークのでん粉原料用ばれいしょの生産動向については、『砂糖類・でん粉情報』2020年11月号（https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_002334.html）に掲載。

（注2）デンマーク統計局によると、同国の面積は約4万3000平方キロメートル（グリーンランドを除く）と日本の約9分の1であり、人口は581万人（2019年）と兵庫県の人口と同程度となっている。人口が少なく、国内消費量が限られているため、ばれいしょでん粉の大半が輸出に仕向けられている。

化工でん粉

デキストリンおよびその他の化工でん粉（以下「化工でん粉」という）の主要輸出国による主要仕向け先国別輸出力および輸出価格は以下の通りである。

タイ

【貿易動向】

9月の輸出力、前年同月からやや減少するも、前月よりわずかに増加

2020年9月の化工でん粉の輸出力は、8万5311トン（前年同月比5.4%減、前月比0.7%増）と前年同月からやや減少したものの、前月よりわずかに増加した。同月の主要輸先国別の輸出力は、表10の通りである。

表10 タイの化工でん粉輸出力（9月）

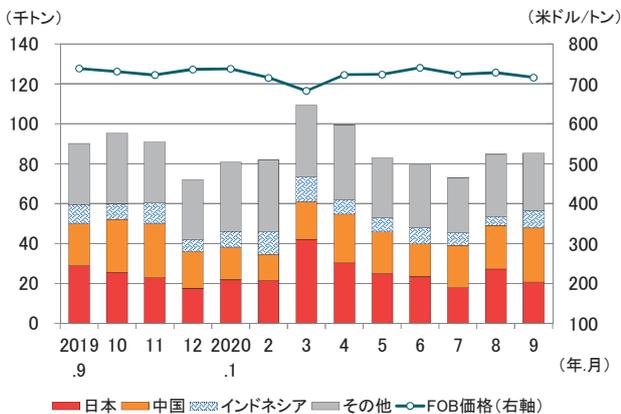
輸先	輸出力 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	85,311	▲5.4%	0.7%
うち 中国	27,276	29.9%	24.2%
日本	20,585	▲29.0%	▲24.3%
インドネシア	8,689	▲10.2%	2.0倍
米国	4,519	7.3%	30.5%
韓国	4,063	▲3.2%	▲46.3%
台湾	2,884	50.7%	3.3%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出力上位6カ国を表示。

（参考）タイの化工でん粉の国別輸出力および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出力（累計）上位3カ国を表示。

米国

【貿易動向】

8月の輸出力、前年同月からはかなり大きく、前月からはやや減少

2020年8月の化工でん粉の輸出力は、2万4251トン（前年同月比15.9%減、前月比3.7%減）と前年同月からはかなり大きく、前月からはやや減少した。同月の主要国別輸出力は、表11の通りである。

表11 米国の化工でん粉輸出力（8月）

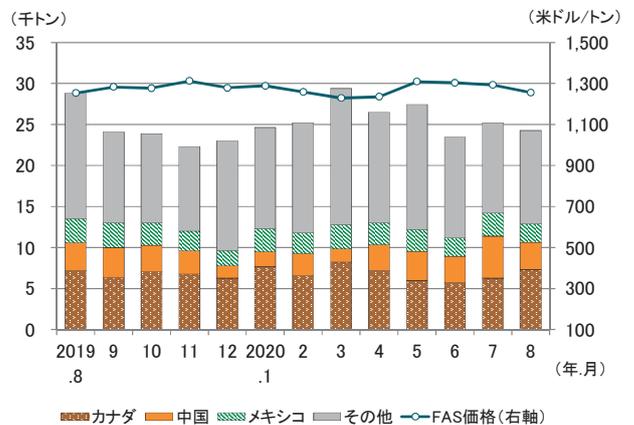
輸先	輸出力 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	24,251	▲15.9%	▲3.7%
うち カナダ	7,327	2.6%	17.0%
中国	3,323	▲3.0%	▲34.9%
メキシコ	2,192	▲25.6%	▲21.3%
インドネシア	1,478	34.4%	58.2%
日本	960	15.0%	▲5.0%
豪州	904	18.3%	57.8%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出力上位6カ国を表示。

（参考）米国の化工でん粉の国別輸出力および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出力（累計）上位3カ国を表示。

中国

【貿易動向】

9月の輸出量、前年同月から大幅に減少するも、前月よりかなりの程度増加

2020年9月の化工でん粉の輸出量は、6586トン（前年同月比28.7%減、前月比10.8%増）と前年同月から大幅に減少したものの、前月よりかなりの程度増加した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表12の通りである。

表12 中国の化工でん粉輸出量（9月）

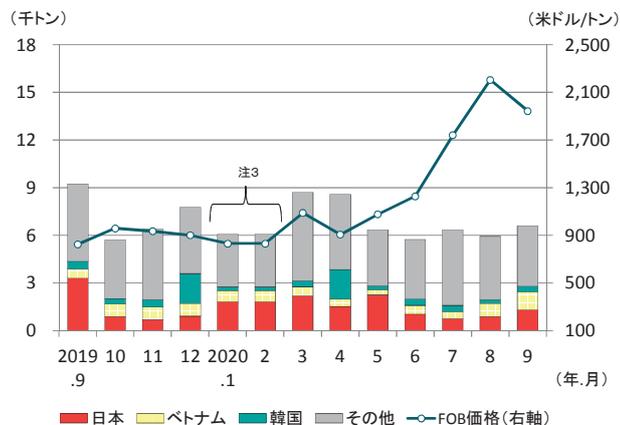
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	6,586	▲28.7%	10.8%
うち 日本	1,310	▲60.3%	45.2%
ベトナム	1,138	2.0倍	39.6%
マレーシア	635	93.6%	68.0%
インドネシア	538	▲11.2%	1.1%
台湾	428	▲16.6%	9.7%
バングラデシュ	405	13.1倍	72.3%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

（参考）中国の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：2020年1、2月の数値は、中国海関総署（日本の税関に相当する組織）が公表した1～2月の合計値を等分した。

EU

【貿易動向】

8月の輸出量、前年同月および前月からかなりの程度減少

2020年8月の化工でん粉の輸出量^(注)は、4万5847トン（前年同月比6.1%減、前月比7.6%減）と、前年同月および前月からかなりの程度減少した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表13の通りである。

（注）EU27カ国の輸出量。輸出先の不明なものを除く。

表13 EUの化工でん粉輸出量（8月）

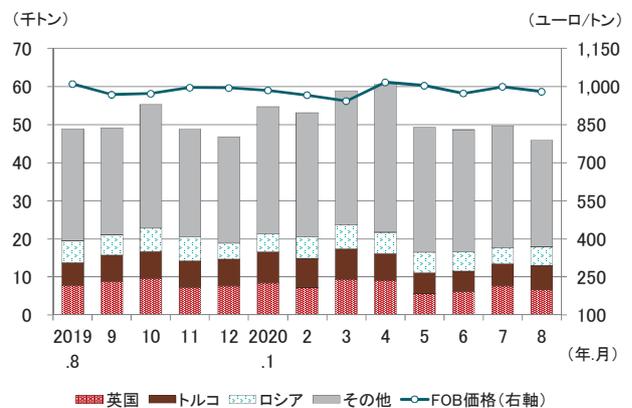
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	45,847	▲6.1%	▲7.6%
うち 英国	6,574	▲14.9%	▲13.1%
トルコ	6,430	7.5%	9.0%
中国	5,301	24.6%	▲30.8%
ロシア	4,874	▲15.5%	14.5%
米国	2,460	6.5%	38.0%
韓国	1,947	15.2%	▲26.4%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

（参考）EUの化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：輸出先の不明なものを除く。

豪州

【貿易動向】

8月の輸出量、前年同月からかなり大きく、前月からはわずかに減少

2020年8月の化工でん粉の輸出量は、1736トン（前年同月比15.6%減、前月比0.9%減）と前年同月からはかなり大きく、前月からはわずかに減少した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表14の通りである。

表14 豪州の化工でん粉輸出量（8月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	1,736	▲15.6%	▲0.9%
うち 米国	762	—	5.2%
日本	746	▲35.7%	22.5%
ニュージーランド	112	▲80.2%	▲64.8%
タイ	44	▲64.5%	—
南アフリカ	36	0.0%	—
台湾	18	—	前月同

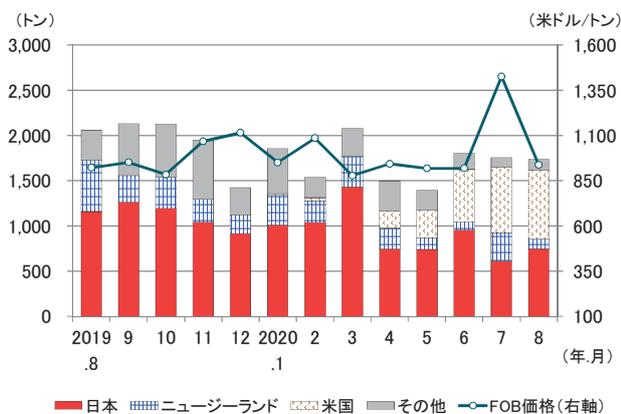
資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：「—」は、輸出実績なし。

（参考） 豪州の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。